

第10回もどりガツオ祭に 過去最高8000人来場!

平成16年、黒潮一番館のオープン1周年を機に、漁協女性部などが手づくりで始めた「土佐さがのもどりガツオ祭」。その年の豊漁と海上安全に感謝し、地域の人々と一緒にお祝いするイベントです。

10回目の今年は、長寿社会づくりソフト事業を活用し、10月19日に開催。例年の倍となるカツオ約2トンを用意し、県内外から訪れた8000人を超える来場者をもてなしました。会場では、カツオのたたきやカツオ御前を販売。幡多地域のうまいもんを集めたマ



会には、JICA研修で黒潮町に滞在中だったモンゴル人を含む5チームが参加。観客も応援で加勢し、祭を盛り上げました。

(写真)①綱引き初代優勝はモンゴルチーム。②開始前、大量のカツオを手際よくさばいて準備。③毎年大人気!カツオの1本売り。④町長自らカツオのわら焼きを上演。⑤早食い(大食い)大会決勝戦。⑥はた博公式キャラクターはたっぴーも来たよ!

ケットや、参加型ゲーム、フラダンス・よさこい鳴子踊りの披露も。
今年初めて行われた綱引き大

ワルター・ケスナーさん親子 小学校で音楽ワークショップ

今年10月の町民大学で素晴らしい演奏を披露してくれたワルター・ケスナーさん一家が、10月24日に佐賀小学校、25日に入野小学校で音楽ワークショップを開催。町内の小学生が参加し、本場のクラシック音楽に親しみました。



同世代の子どもたちが奏でる美しい音色に、うっとり聞き入る児童たち。(佐賀小学校)

ベルリン・フィルのピオラ奏者・ワルターさん、ピアニストの杉山紀子さん夫妻とともに、9〜12歳の3人の子どもたちがそれぞれチェロ、バイオリン、ビオラを演奏。曲の合間には、ワルターさんが手作り弦楽器で音が出る仕組みを説明。子どもたちは興味深そうに話を聞いていました。

「なぶら土佐佐賀」が 道の駅に登録されました

佐賀地域の国道56号沿いに来春開設予定の道の駅「なぶら土佐佐賀」の登録証伝達式が、11月14日、黒潮町役場で行われました。

伝達式では、中村河川国道事務所・岡村環事務所長より、大西勝也黒潮町長へ登録証が授与されました。大西町長は、「佐賀地域に、町内2つ目の道の駅ができることは大変うれしい。関係者の協力に感謝しています。黒潮町や幡多地域の情報発信の拠点にしていきたい」と話していました。

道の駅は現在、建物の建築が進んでいます。今後は、指定管理者を決定し、4月オープンに向けて準備を進めていきます。



国土交通省道路局長名の登録証を伝達する岡村事務所長(左)と大西町長。